

# 高山市新火葬場建設に関する 基本構想について（案）

高山市新火葬場建設検討委員会

平成 29 年 3 月

## < 目 次 >

はじめに .....	1
第1章 施設整備の基本方針 基本コンセプトと基本方針 .....	2
第2章 施設の整備内容	
1. 施設の基本的機能 .....	3
2. 延床面積および敷地面積の試算 .....	4

## はじめに

「高山市新火葬場建設検討委員会」(以下、「検討委員会」という。)の目的は、新火葬場建設についての基本構想を立て、それにしたがって候補地を検討し市長に答申することである。

このため、過去の新火葬場計画について高山市からの説明を受け、市が作成していた基本方針を検証し、それらを考慮しながら検討委員会で施設整備の基本方針と施設の整備内容について論議してきた。

その具体的な活動として、検討委員会は7回にわたる会議と県内の火葬場を視察した。その結果を踏まえた新火葬場の基本構想について答申する。

なお、検討委員会の議論の内容については、ホームページでその都度公表している。

# 第1章 施設整備のコンセプト

## 基本コンセプトと基本方針

基本コンセプトと基本方針を以下の通りとする。

### 基本コンセプト

「ふるさと高山の自然と風土に抱かれた  
巖かで温もりのある旅立ちの空間」

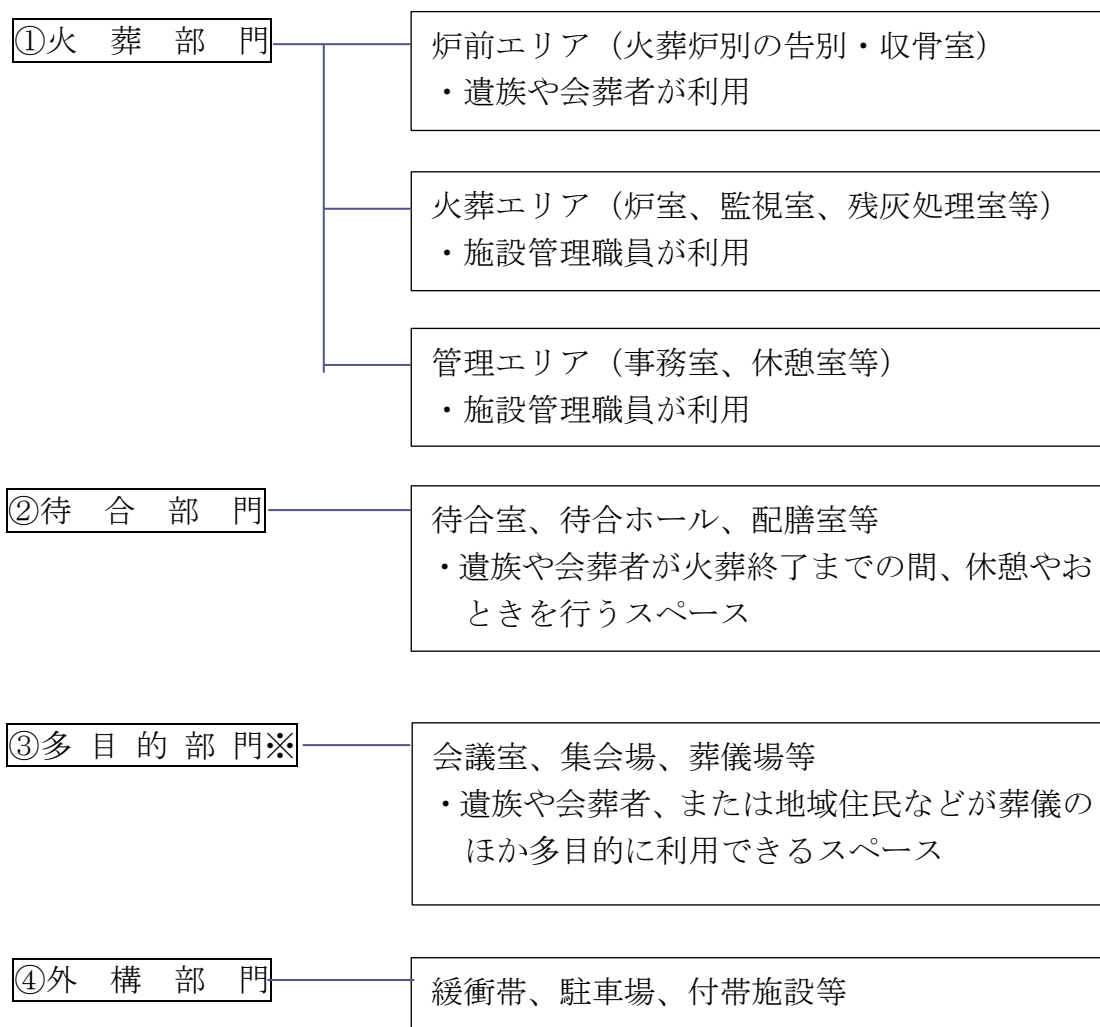
### 基本方針

- ① 故人の旅立ちにふさわしい巖かな空間
- ② 見送る人々にとってやさしく温もりのある空間
- ③ 高山の自然・文化・伝統に根差した高山らしい空間
- ④ 公共施設としてふさわしい建物
  - ・建設及び維持管理のコストを考慮
  - ・誰もが利用しやすい場所・建物
  - ・自然環境に配慮した施設
  - ・近隣住民の生活環境への配慮

## 第2章 施設の整備内容

### 1. 施設の基本的機能

基本的機能の構成を以下の通りとする。



※候補地の状況や予算等を勘案し、必要に応じて設ける部門

## 2. 延床面積および敷地面積の試算

火葬場の延床面積および敷地面積を下記のとおり試算した。施設の概要 P 6

### (1) 延床面積の試算

「施設の概要」により、火葬部門、待合部門、多目的部門に分けて試算

部門	機能	床面積 (㎡)
①火葬部門	炉室 (火葬炉 4 基、動物炉 (多目的炉) 1 基) 機械室、監視室、残灰処理室、倉庫 電気室、動物告别室および前室 告别・収骨室 4 室 霊安室 事務室、休憩室、台車倉庫 風除室、管理用便所およびシャワー室 集塵機械室	1 階 1,536.50 ㎡ 2 階 525.00 ㎡ 計 2,061.50 ㎡ ⇒約 2,100 ㎡
②待合部門	待合室 4 室、待合ホール 授乳室、配膳室 風除室、便所 (男女、多目的)	822.50 ㎡ ⇒約 800 ㎡
③多目的部門※	多目的ホール (葬儀場としての利用可) バックヤード、控え室 3 室 給湯およびシャワー室 倉庫、機械室 風除室、便所 (男女、多目的)	794.50 ㎡ ⇒約 800 ㎡
面積合計		約 3,700 ㎡

※候補地の状況や予算等を勘案し、必要に応じて設ける部門

試算結果から、新火葬場の延床面積は、多目的部門を含めた場合、3,700 ㎡程度と考える。

施設は平屋建てを基本とするが、一部 2 階建ての部分には火葬設備の集塵機器等を設置する。

(2) 敷地面積の試算

「施設の概要」により、部門別建築面積と外構部門面積に分けて試算

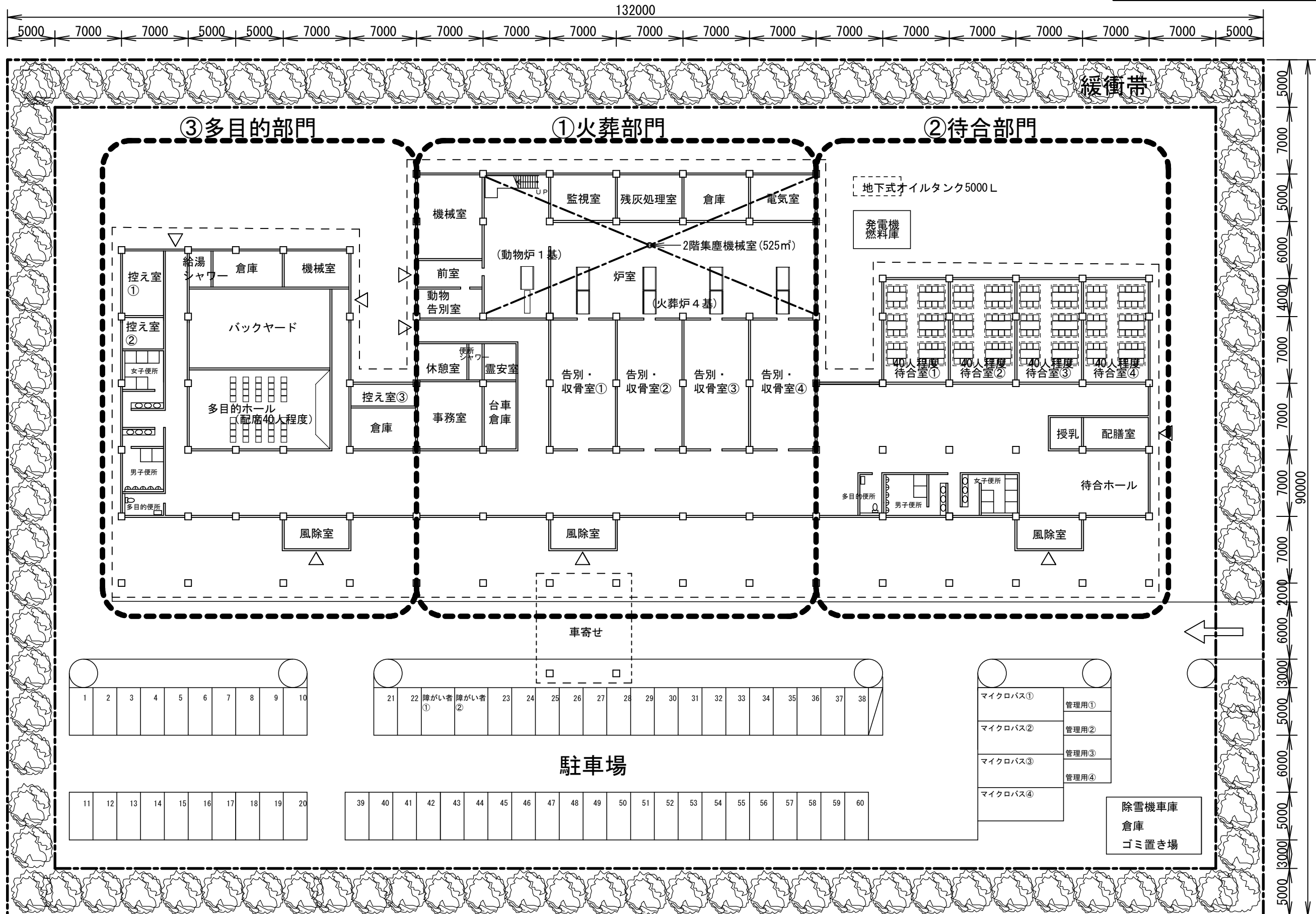
部門	機能	敷地に占める面積 (㎡)	
①火葬部門	炉室 (火葬炉 4 基、動物炉 (多目的炉) 1 基) 機械室、監視室、残灰処理室、倉庫 電気室、動物告別室および前室 告別・収骨室 4 室 霊安室 事務室、休憩室、台車倉庫 風除室、管理用便所およびシャワー室 集塵機械室	建築面積 1,806 ㎡ ⇒約 1,800 ㎡	
②待合部門	待合室 4 室、待合ホール 授乳室、配膳室 風除室、便所 (男女、多目的)	建築面積 1,043 ㎡ ⇒約 1,000 ㎡	
③多目的部門※	多目的ホール (葬儀場としての利用可) バックヤード、控え室 3 室 給湯およびシャワー室 倉庫、機械室 風除室、便所 (男女、多目的)	建築面積 987 ㎡ ⇒約 1,000 ㎡	
④外構部門	駐車場 普通車 60 台 (待合室 1 室あたり 10 台、多目的ホールにつき 20 台) 障がい者用 2 台 20 人用マイクロバス 4 台 (待合室 1 室あたり 1 台) 管理用 4 台 除雪機車庫、倉庫、ゴミ置き場等	2,684 ㎡ ⇒約 2,700 ㎡	
	建物の周囲	メンテナンス用通路として有効幅 6 m を確保	3,240 ㎡ ⇒約 3,200 ㎡
	緩衝帯	施設の外周に幅 5 m の緩衝帯スペースを確保 (植栽等の設置)	2,120 ㎡ ⇒約 2,100 ㎡
面積合計		約 11,800 ㎡	

※候補地の状況や予算等を勘案し、必要に応じて設ける部門

以上の試算結果から、新火葬場の必要敷地面積を 11,800 ㎡程度と考える。

(3) 施設の概要

【参考】	敷地面積	11880.00m <sup>2</sup>
	建築面積	3836.00m <sup>2</sup>
	延床面積	3678.50m <sup>2</sup>



※この施設の概要図は新火葬場の敷地規模を想定するために作成したものであり、計画図ではない。